※令和４年度以降入学生用

学校番号	２１２

令和５年度　地理歴史科

教科	地理歴史	科目	地理探究	単位数	２単位	年次	２年次
使用教科書	新詳地理探究（帝国書院）　新詳高等地図（帝国書院）						
副教材等	サクシード地理（啓隆社） 地理統計 Plus（帝国書院） 新詳地理資料 COMPLETE 2022（帝国書院）						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

高校の地理は，地形・気候・産業や文化などを総合的にとらえ，考えていく力を身につけていきます。
世界の諸地域について単純に暗記するのではなく，地図帳，写真，地形図，図表などを利用しながら，規則性や関連性に着目し，そこにある理由，歴史的背景をふまえて，各地域の共通点や相違点を見いだすようにしましょう。
多方面から物事をとらえる力は，生きる力にもつながります。
地理の学習で一番大事なことは，テレビや新聞などで地名が出てくれば地図帳にしるしをつけるなど，地図を見る習慣をつけることです。
共通テストでは暗記力よりも幅広い知識・経験・思考力が問われます。他教科・他科目を含め勉強の幅を狭めず多様な経験を生かしましょう。定期考査では入試問題レベルの問題を多数出題するので，復習をしっかりしてください。

２　学習の到達目標

社会的事象の地理的な見方・考え方を働かせ，課題を追究したり解決したりする活動を通して，広い視野に立ち，グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の有為な形成者に必要な公民としての資質・能力を次のとおり育成することを目指す。
(1) 地理に関わる諸事象に関して，世界の空間的な諸事象の規則性，傾向性や，世界の諸地域の地域的特色や課題などを理解するとともに，地図や地理情報システムなどを用いて，調査や諸資料から地理に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。
(2) 地理に関わる事象の意味や意義，特色や相互の関連を，位置や分布，場所，人間と自然環境との相互依存関係，空間的相互依存作用，地域などに着目して，系統地理的，地誌的に，概念などを活用して多面的・多角的に考察したり，地理的な課題の解決に向けて構想したりする力や，考察，構想したことを効果的に説明したり，それらを基に議論したりする力を養う。
(3) 地理に関わる諸事象について，よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に探究しようとする態度を養うとともに，多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚，我が国土に対する愛情，世界の諸地域の多様な生活文化を尊重しようとすることの大切さについての自覚などを深める。

３　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	地理に関わる諸事象に関して，世界の空間的な諸事象の規則性，傾向性や，世界の諸地域の地域的特色や課題などを理解するとともに，地図や地理情報システムなどを用いて，調査や諸資料から地理に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。	地理に関わる事象の意味や意義，特色や相互の関連を，位置や分布，場所，人間と自然環境との相互依存関係，空間的相互依存作用，地域などに着目して，系統地理的，地誌的に，概念などを活用して多面的・多角的に考察したり，地理的な課題の解決に向けて構想したりする力や，考察，構想したことを効果的に説明したり，それらを基に議論したりする力を養う。	地理に関わる諸事象について，よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に探究しようとする態度を養うとともに，多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚，我が国土に対する愛情，世界の諸地域の多様な生活文化を尊重しようとすることの大切さについての自覚などを深める。

※令和４年度以降入学生用

上に示す観点に基づいて，学習のまとまりごとに評価し，学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて，それぞれの観点を適切に配分し，評価します。

４　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1学期	自然環境	1.地形 2.気候 3.日本の自然環境 4. 地球環境問題	ａ：地形，気候，生態系などに関わる諸事象をもとに，それらの事象の空間的な規則性，傾向性や，地球環境問題の現状や要因，解決に向けた取り組みなどについて理解している。 ｂ：地形，気候，生態系などに関わる諸事象について，場所の特徴や自然および社会的条件との関わりなどに着目して，主題を設定し，それらの事象の空間的な規則性，傾向性や，関連する地球的課題の要因や動向などを多面的・多角的に考察し，表現している。 ｃ：自然環境について，よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究しようとしている。	小テスト 定期考査	課題 定期考査	成果物 振り返りプリント
	資源と産業	1.農林水産業	ａ：資源・エネルギーや農業，工業などに関わる諸事象をもとに，それらの事象の空間的な規則性，傾向性や，資源・エネルギー，食料問題の現状や要因，解決に向けた取り組みなどについて理解している。 ｂ：資源・エネルギーや農業，工業などに関わる諸事象について，場所の特徴や場所の結びつきなどに着目して，主題を設定し，それらの事象の空間的な規則性，傾向性や，関連する地球的課題の要因や動向などを多面的・多角的に考察し，表現している。 ｃ：資源，産業について，よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究しようとしている。	小テスト 定期考査	課題 定期考査	成果物 振り返りプリント
2学期		2.食料問題 3.エネルギー・鉱産資源 4.資源・エネルギー問題 5.工業 6.第3次産業		小テスト 定期考査	課題 定期考査	成果物 振り返りプリント

※令和４年度以降入学生用

	交通・通信と観光，貿易	1.交通・通信 2.観光 3.貿易と経済圏	ａ：交通・通信網と物流や人の移動に関する運輸，観光などに関わる諸事象をもとに，それらの事象の空間的な規則性，傾向性や，交通・通信，観光に関わる問題の現状や要因，解決に向けた取り組みなどについて理解している。 ｂ：交通・通信網と物流や人の移動に関する運輸，観光などに関わる諸事象について，場所の特徴や場所の結びつきなどに着目して，主題を設定し，それらの事象の空間的な規則性，傾向性や，関連する地球的課題の要因や動向などを多面的・多角的に考察し，表現している。 ｃ：交通・通信，観光について，よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究しようとしている。	小テスト 定期考査	課題 定期考査	成果物 振り返りプリント
	人口，村落・都市	1.人口 2.人口問題 3.村落と都市 4.都市・居住問題	ａ：人口，都市・村落などに関わる諸事象をもとに，それらの事象の空間的な規則性，傾向性や，人口，居住・都市問題の現状や要因，解決に向けた取り組みなどについて理解している。 ｂ：人口，都市・村落などに関わる諸事象について，場所の特徴や場所の結びつきなどに着目して，主題を設定し，それらの事象の空間的な規則性，傾向性や，関連する地球的課題の要因や動向などを多面的・多角的に考察し，表現している。 ｃ：人口，村落・都市について，よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究しようとしている。	小テスト 定期考査	課題 定期考査	成果物 振り返りプリント

※令和４年度以降入学生用

3学期	生活文化，民族・宗教	1.衣食住 2.民族・宗教と民族問題 3.国家の領域と領土問題	ａ：生活文化，民族・宗教などに関わる諸事象をもとに，それらの事象の空間的な規則性，傾向性や，民族，領土問題の現状や要因，解決に向けた取り組みなどについて理解している。 ｂ：生活文化，民族・宗教などに関わる諸事象について，場所の特徴や場所の結びつきなどに着目して，主題を設定し，それらの事象の空間的な規則性，傾向性や，関連する地球的課題の要因や動向などを多面的・多角的に考察し，表現している。 ｃ：生活文化，民族・宗教について，よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究しようとしている。	小テスト 定期考査	課題 定期考査	成果物 振り返りプリント

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度